

様式2 平成31年度運営方針

	取組項目	業績目標	目標値
経営課題1	人と人とのつながり支え合うまちづくり		
1－1	地域力の強化による防災・減災・安全対策の推進	災害時の備え(自助や共助)の重要性を認識している区民割合(H32末)	80%
		防犯カメラを設置することで街頭犯罪の減少・抑止につながっていると答える区民割合	90%
1－1－1	自主防災組織の防災活動・訓練への支援	地域ごとに防災計画・防災マップを作成していると知っている区民の割合	60%
1－1－2	小学生・中学生の防災訓練	小学校での実施7校以上、中学校3校実施で訓練を受けて良かったと回答した参加者の割合	85%
1－1－3	地域防災イベント	子育て世代を対象にした防災イベントやセミナーを開催する。満足した参加者の割合	85%
1－1－4	中学生被災地訪問事業	区内3中学校の生徒が被災地を訪問。参加生徒の防災意識向上100%、同報告会アンケート50%	—
1－1－5	地籍整備型土地地区画整理事業の推進	地籍整備型土地地区画整理事業の事業化	1箇所
1－1－6	防犯カメラ・街路防犯灯の増設・防犯啓発による安全なまちづくり	防犯カメラ等を設置することで街頭犯罪の減少・抑止につながると回答した区民割合	90%
		街頭アンケートで啓発活動を行うことで防犯意識が高まっていると感じると回答した割合	50%
1－2	「福島区地域福祉ビジョン」の取り組み	身近な地域でのつながりに関して肯定的に感じている区民の割合(H31年度までに)。	51%
1－2－1	地域のつながりづくりへの支援	地域福祉コーディネーターの相談窓口利用者がアンケートで「相談して良かった」と回答する割合	60%
1－2－2	地域における生活課題の解決支援	ふくしま暮らし支え合いシステムの年間マッチング件数1,000件及び活動登録者数80人	—
1－3	地域活動協議会等の自律的な活動の促進	地域が自律的な地域運営に取り組めるようになっていていると感じている地域団体の割合(H33末)	60%
1－3－1	活動の活性化に向けた支援	地域活動協議会の構成団体が、自分の地域に即した支援を受けることができていると感じた割合	95%
		地域活動協議会を知っている区民の割合	40%
		地域を担当する職員のeラーニング受験率及び理解度:受験率100%かつ理解度全員95点以上	—
		地域活動協議会の構成団体が地域活動協議会に求められている準行政的機能を認識している割合	81%
1－3－2	総意形成機能の充実	総意形成機能を認識している地域活動協議会の構成団体の割合	49%
1－3－3	多様な主体のネットワーク拡充への支援	新たに地域活動協議会とNPO及び企業等とが連携した取組を行った件数	5件
1－3－4	活動の実態に応じたきめ細かな支援	まちづくりセンター等の支援を受けた団体が、支援に満足している割合	97%
		派遣型の地域公共人材が活用された件数	1件
1－3－5	市民活動の持続的な実施に向けたCB/SB化、社会的ビジネス化の支援	区が関与したCB/SB起業件数及び社会的ビジネス化事業創出件数	1件
1－3－6	地域の自助・共助による放置自転車対策の推進	「駅周辺では積極的に放置自転車対策に取り組んでいる」と感じる人の割合	75%
1－4	継続可能な地域活動の実現	さまざまな市民活動団体が集まって、地域の活動や地域課題について話し合うことが活発になっていていると感じている地域団体の割合(H33末)	60%
1－4－1	地域に根ざした活動の活性化(地縁型団体)	地域活動に対する大阪市からの支援が役に立っていると感じている区民の割合	59%
1－4－2	地縁型団体の負担感の解消及び活動の充実	地縁型団体が行う活動に参加している区民の割合	26%
		各団体により地域の特性や課題に応じた活動が進められていると感じている区民の割合	48%
1－4－3	地域を限定しない活動の活性化	テーマ型団体の相談窓口への問合せ件数	4件
経営課題2	次世代を元気に育むまちづくり		
2－1	妊娠期から就学前のこどもを持つ親に対しての子育て支援	待機児童等がない状態(H33末)	—
		「区役所の取組によって子育て不安や負担感が軽減された」と回答した割合	80%
2－1－1	待機児童等の解消	区内保育施設等事業者の募集数全件について事業者を決定する	2件
2－1－2	子育て支援事業の充実	自身の健康に関心を持つ母親の割合	90%
		同じ障がいや悩みを抱える保護者同士の存在を実感できたと感じる参加者の割合	90%
		知り合いができたという実感を持てる参加者の割合	95%
2－2	「ニア・イズ・ベター」に基づく分権型教育行政の効果的な推進	学校、地域の実情に応じた教育が行われたと感じる「保護者・区民等の参画のための会議」教育会議の委員の割合	40%
2－2－1	小・中学校の児童・生徒の体力向上事業	放課後校庭開放ボランティア事業を実施したことで校庭で遊ぶ子どもが増えたと回答する割合	80%
		ゲストティーチャー派遣事業実施後に「運動への興味・関心が高まった」と回答する割合	90%
2－2－2	小・中学生の基礎学力向上事業	中学生課外学習事業について「学校以外での学習習慣がこれまで以上に上った」と回答する受講者の割合	50%
		小学生民間事業者学習支援事業について、児童の延べ出席率	70%
		小学生民間事業者学習支援事業について、授業以外での勉強時間が増えたと答える児童の割合	70%
2－2－3	分権型教育行政の理解促進	自校において、学校の実情に応じた教育が行われ教育内容がより充実したと感じる区内小・中学校長の割合	30%
		学校の実情に応じた教育が行われ教育内容がより充実したと感じる区内小・中学校の学校協議会委員の割合	30%
経営課題3	にぎわいと魅力あふれるまちづくり		
3－1	にぎわいと魅力あふれるまちづくり	区主催・共催イベントの来場者数を26年度の2倍増にする(H33末)	7万人
3－1－1	福島区のにぎわいづくりのための事業	H31年度中のイベント開催回数	6回
		区主催イベント来場者数	6.5万人
		イベント来場者が「また来たい」と回答した割合	90%
3－1－2	花とみどりのまちづくり事業	緑化関連取組に対する区民の認知度	50%
経営課題4	区民が満足・納得できる区役所づくり		
4－1	区民が区政運営に参加・参画する仕組みの更なる充実	区政運営に区民の意見や要望が反映されていると感じている区民の割合(H33末)	60%
		区の様々な取組について企画・計画の段階において区民の意見や要望を反映していると思う区民の割合(H33末)	60%
		区の様々な取組についてそれらの終了時に意見を聴くなど、区民からの評価を受け、これらを区政運営の改善につなげていると思う区民の割合(H33末)	60%
4－1－1	区政会議の効果的な運営	区政会議において、各委員からの意見や要望、評価について、十分に区役所や委員との間で意見交換が行われていると感じている区政会議の委員の割合	74%
		区政会議において、各委員からの意見や要望、評価について、適切なフィードバックが行われたと感じる区政会議の委員の割合	71%
		地域活動協議会からの推薦を受けた区政会議の委員を選定する	—
4－1－2	多様な区民の方の意見やニーズの的確な把握	区役所が、様々な機会を通じて区民の意見やニーズを把握していると感じる区民の割合	48%
4－2	区民サービスの向上と効率的な区行政の運営	区役所が効果的・効率的な区政運営が行われていると感じている区民の割合(H33末)	60%
4－2－1	区民に身近な総合行政の拠点としての区役所づくり	区役所が相談や問い合わせ内容について適切に対応したと思う区民の割合	75%
4－2－2	庁舎案内や窓口サービスにおけるサービス向上	区役所業務格付け調査結果において★★(民間の窓口サービスの平均点を上回るレベル)以上を獲得する	—
4－2－3	区政情報の発信	区の様々な取り組み(施策・事業・イベントなど)に関する情報が、区役所から届いていると感じる区民の割合	47%
4－2－4	効率的な区行政の運営の推進	不適切な事務処理事案の件数	6件
		日頃からPDCAサイクルを意識して業務に取り組んでいる職員の割合	85%